

広報せとうち4

令和4年
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん!



まちの人口と世帯 | 住民基本台帳 令和4年2月末

人口 | 合計

8,594人 (前月比: -8)

人口 | 男

4,241人 (前月比: -2)

人口 | 女

4,353人 (前月比: -6)

世帯数 | 合計

5,199世帯 (前月比: +3)

身近な防災 日頃の備え

災害が発生した際に身を守る行動を取れるよう、事前に準備しておくことが非常に重要です。今回は、「危険の把握」と「避難生活」のための備えについて特集します。

瀬戸内町の自然災害を振り返る

明治44年

喜界島地震による津波

鎮西村で津波により人家過半数に浸水被害が出たと言われている。

昭和35年

チリ地震に伴う津波

古仁屋・勝浦地区で1〜2m前後、加計呂麻島の俵・秋徳・諸鈍地区において3m〜6m前後の津波が来たと言われている。

平成2年

台風19号 大雨・洪水・暴風 波浪・高潮警報

古仁屋 高丘地区にて大規模な土石流災害が発生。亡くなられた方々12名・負傷者2名（他にも甚大な被害）

平成22年

10月豪雨（奄美豪雨災害） 大雨洪水警報

床上下浸水135世帯・がけ崩れ14箇所

平成23年

東日本大震災 津波注意報・警報

清水〜嘉鉄間のマネン崎付近に多くの避難車両。大島海峡（清水沖）にも津波回避の小型船舶が見受けられた。

平成23年

11月豪雨（奄美大島南部豪雨災害） 大雨洪水警報 避難勧告

へき地診療所裏の林地が崩壊し診療所内に大量の土砂が流入。県道蘇刈〜古仁屋線において大規模な法面崩壊が発生し、集落が一時孤立。床上下浸水572世帯 半壊146棟

平成30年

台風24号 暴風・高潮・洪水警報 避難準備・高齢者等避難開始

負傷者3名（18の避難所に124名が避難）床上下浸水30世帯・半壊17棟・一部破損289棟

令和元年

6月大雨 大雨洪水・土砂災害警戒情報 避難勧告

町内で3つの避難所に6名が避難。崩土による通行止めが多数発生。

令和2年

台風10号 波浪・暴風・高潮・大雨警報 高齢者等避難

負傷者1名（町内66の避難所に700名が避難）床上下浸水3世帯・全壊1棟・栈橋の一部破損2箇所

令和4年

南太平洋トンガ諸島で発生した海底火山噴火の影響に伴う津波警報・避難指示

国道58号線・高千穂神社前〜高知山展望所 駐車場まで約4kmの渋滞が発生した。古仁屋小グランドに車70台が避難（古仁屋中グランドに10台）各地区において、ほとんどの方々が高台への避難を実施。

これから先に備えるべき災害等…

異常気象による風水害・超大型台風
奄美群島太平洋沖地震（北部・南部）
南海トラフ地震
遠地地震・噴火等による潮位変化

▶ 避難情報について知る

大雨・台風・土砂災害警戒等（津波災害は除く）



警戒レベル4までに必ず避難をしましょう！

災害のおそれがある

警戒レベル3

高齢者等避難

危険な場所から
高齢者の方などは避難

災害のおそれが高い

警戒レベル4

避難指示

危険な場所から
全員避難

災害が発生・切迫

警戒レベル5

緊急安全確保

命の危険
直ちに安全確保

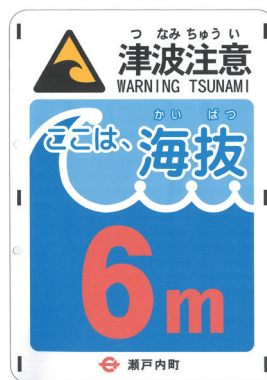
※気象等に関する注意報・警報・特別警報は、雨（大雨）・台風等（暴風・高潮・波浪）を要因とするものに大別されています。

※土砂災害警戒情報は、大雨等の影響により、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況になったとき、警戒を呼びかけるために発表されます。

いっどこで災害が発生するかわかりません・・・
「今できることから始めよう！」

津波警報・注意報の種類

警報・注意報	発表される津波の高さ (発表基準)	
大津波警報 (特別警報)	巨大	高いところで 3m超
津波警報	高い	高いところで 1m超～3m以下
津波注意報	無し	高いところで 0.2m超～1m以下



自宅付近にある「海抜表示板」を確認しておきましょう。
(町内に389箇所)

予想される津波が、海抜表示より高いか低いかで避難の目安として判断ができます。

※予想される津波が、低い場合であっても決して安全を保障できるものではありません。

取るべき行動

- ① 正しい情報入手
- ② 海岸・河川に近づかない
- ③ なるべく徒歩で避難
- ④ 高い場所へ・海から遠くに速やかに避難

※津波警報・緊急地震速報を見聞きした場合には、周囲の状況に応じて、慌てずに、身の安全を確保・避難してください。

▼避難する際の注意点
(準備・行動)

① 災害が想定される位置の確認
自宅付近の災害リスクの認識。

② 避難所・避難場所の確認
自宅に近い避難所・避難場所を覚えておく。

③ 避難経路を決めておく
土砂災害・津波が想定される場所を避けるようにご家庭・隣近所・地区の方で話し合いながら、事前に確認しておく。

④ 災害状況にあった避難行動
頑強な建物や高台にお住まいの方は、状況に応じて在宅(垂直)避難も検討する。



▼防災ハザードマップを確認

令和3年に新たに瀬戸内町防災ハザードマップを作成し、6月に町民の皆さんのご自宅にお届けしました。

ハザードマップには、避難所や避難場所の地図だけでなく、非常時の持出品チェックシートや、避難時に注意することが掲載されています。日頃から目を通し、必要な情報を確認し安心安全のために、ご活用ください。



防災ハザードマップは、町のHPからもご確認いただけます。



▼災害・避難情報を知る手段

Jアラート全国瞬時警報システム
(国より発信)

緊急地震速報・大津波・津波警報・弾道ミサイル情報など一刻を争う有事の際は、人手を介さずに防災行政無線やエリアメールが自動起動し、瞬時に情報を伝達します。

※大雨警報・台風接近・避難情報・Jアラート後の続報などは、状況に応じて町から発信します。

せとラジも聞いてね!

このたび、瀬戸内町は、一般社団法人せとうちラジオ放送と災害時等において、せとうちラジオ放送の放送設備を使用し災害情報の放送(発信)を行う協定を締結いたしました。このことにより、「せとうちラジオ放送」を通してお聞きの皆様に迅速・正確な情報をお伝えしていきます。

FM 76.8 MHz



☎ 瀬戸内町役場

- 防災行政無線 📻
- エリアメール ✉
- 瀬戸内町防災情報メール(登録制)
- ラジオ放送による発信 📻

※ 気象情報などは、気象庁ホームページで最新の情報を確認できます。

津波警報発表に伴う事後検証会について

令和4年2月9日(水)きゅら島交流館にて、1月16日(日)南太平洋トンガ諸島で発生した海底火山噴火の影響に伴う津波警報発表について、町内の防災関係機関・団体の実務担当者の皆様を対象に事後検証会を開催・出席者から貴重な意見を伺うことが出来ました。

〈主な内容として〉

- | | |
|------------------|---|
| Q 車の渋滞対策について | A 小中学校のグラウンド早期開放・交通誘導員等の配置を行う。 |
| Q 避難中・避難先でのトイレ対策 | A 組立式簡易トイレ・テントの全地区への配備を行う。 |
| Q 避難についての認識と意識付け | A 防災に対する啓発を幅広く行っていく。
自主防災組織を通して、地区ごとの訓練を検討していく。 |
| Q 情報発信の強化について | A 防災行政無線などでの発信情報の内容の工夫を行う。
令和5年度末までに全世帯へ防災行政無線戸別受信機の配備を予定している。 |

〈下記の意見がありました〉

- ・高台への避難時に、安全と思われる高さで途中停車すると、進行先の見えない後続車が進めなくなるため、高台を登りきる必要がある。
- ・緊急車両の通行の妨げにならないようにすること。(災害対応の遅れが懸念される)
- ・やむを得ず、車で避難する場合は、慌てず、交通事故に気をつけること。
- ・今回の経験を踏まえ、各集落での避難訓練をおこなうこと。

「チームせとうち」みんなで地域防災・減災に取り組みましょう！

災害による被害を最少限にするには、自助・共助・公助の連携が必要です。

- 自助 避難行動の確認や非常時持出品の準備など自分たちで出来ること
- 共助 各自主防災組織での取り決めや隣近所・地区での助け合い
- 公助 防災関係機関との連携や災害発生時の救助など、行政からの支援

地域の安全、 安心を守る 消防団員募集

瀬戸内町では、随時消防団員を募集中です！

地域防災力の一員として自分たちの地域は自分たちで守る。

崇高な使命のもと一緒に頑張ってみませんか。

お問合せ先

大島地区消防組合 瀬戸内消防分署

警防係・非常備担当まで ☎ 0997-72-1190



2022年、全人類に笑顔を捧ぐ

消防団に参加せよ。
明日の笑顔は
君たちに託された。

消防団員募集中

消防団に関する詳しい情報はWEBで
0997-72-1190
0997-72-1190
0997-72-1190

消防 瀬戸内消防 消防団員募集